

## 2重分岐被覆空間の既約性について

河野正晴 (北大、理)

3-manifold が fake 3-ball をふくまない時、その manifold を (C.P.)-manifold と呼ぶ (又は略して単に (C.P.) である)。ここでは (C.P.)-manifold の 2-fold branched covering が又 (C.P.)-manifold であることを示す。(証明自体の詳しい所は [K] 参照。) 「 $\forall$   $M$ 」の 3-manifold は (C.P.) である」という命題は Poincaré Conjecture と同値となる。又 (C.P.)-manifold  $M$  に対し  $\pi_2(M) = 0$  となる時は  $M$  に irreducible (i.e.  $\forall S^2 \subset M$  2-sphere に対し  $\exists B^3$ : 3-ball  $\nearrow 2B^3 = S^2$ ) である。又  $M$  が irreducible の時  $\pi_1(M) \neq 1$  なら  $M$  は (C.P.)-manifold である。結果は以下の通りである。

### 定理 1

$M, N$  を closed orientable 3-manifold とする。

$p: (M, \tilde{L}) \longrightarrow (N, L)$  を  $M$  から  $N$  への  $L$  を branch する

2-fold branched covering であるとする。この時  $N$  が (C.P) ならば  $M$  も (C.P) である。

### Covollary

3-sphere の 2-fold branched covering space は (C.P) である。

又上の Covollary を用いて次の結果がわかる

### 定理 2

$M$  を 3-sphere 上の 2-fold branched covering space とする。  
この時  $\pi_1(M) \cong \mathbb{Z}$  ならば  $M \cong S^2 \times S^1$ ,  $\pi_1(M) \cong \mathbb{Z}_2$  ならば  $M \cong P^3$  である。

§ 1.

定理 1 を証明するためにいくつかの Lemma, Proposition を示す。

### Proposition 1

$M$  を closed orientable 3-manifold,  $g$  を  $M$  上の orientation preserving involution とする ( $g^2 = \text{id}_M$ )。この時 embedded 2-sphere  $S_1^2, \dots, S_m^2$  が存在して次の 2つの条件を満足

ある。

(1) 任意の  $i$  ( $1 \leq i \leq m$ ) について  $S^2 \cap g(S_i^2) = \emptyset$  は  $g(S_i^2) = S_i^2$  が成立する。

(2)  $[S_1^2], \dots, [S_m^2]$  は  $\pi_2(M)$  を  $\pi_1(M)$ -module と見たとき、それを generate する。

$\text{Fix}(g) = \tilde{L}$  とある。  $M$  に  $u$  を  $u$  を任意の 2-sphere  $S^2$  を考える。この時

$$\text{type (a)} \quad S^2 = g(S^2)$$

$$\text{type (b)} \quad S^2 \neq g(S^2)$$

のいずれかに存在する。 type (b) の時 transversal technique を用いて、  $S^2$  は  $\tilde{L}$  と  $M$  で、  $S^2$  と  $g(S^2)$  は  $M - \tilde{L}$  で transversal とし得る。この時

$$X(S^2) = S^2 \cap g(S^2) - \tilde{L}$$

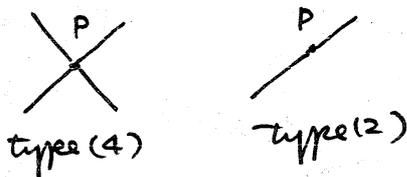
$$Y(S^2) = S^2 \cap g(S^2) \cap \tilde{L} \quad \text{とある。} \quad \text{とある。}$$

$\alpha(S^2)$  を次の様に定める。

$$\alpha(S^2) = \begin{cases} X(S^2) \text{ の component の数} & S^2 \text{ が type (b) の時} \\ 0 & S^2 \text{ が type (a) の時} \end{cases}$$

又  $P$  を  $Y(S^2)$  の点とし、  $B_p$  を  $P$  の small neighborhood とした時、  $B_p \cap X(S^2)$  の component の数が  $i$  である時、点  $P$  は type (i)

であるという。この時  
次が言える。



### Lemma 1

$S^2$  を type (b) の 2-sphere とする。isotopy で  $S^2$  を少し動かして  $\gamma(S^2)$  をすべて type (2) の点にできる。

(証明は略)

### Lemma 2

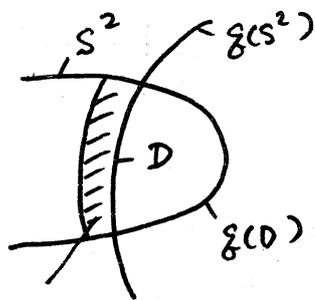
$S^2$  を embedded 2-sphere で  $\alpha(S^2) \neq 0$  とする。この時 2個の 2-sphere  $S_1^2, S_2^2$  が存在して次の条件を満たす。

- (i)  $\max(\alpha(S_1^2), \alpha(S_2^2)) < \alpha(S^2)$
- (ii)  $[S_1^2]$  と  $[S_2^2]$  から  $\pi_2(M)$ -module として generate する  $\pi_2(M)$  の sub-module は  $[S^2]$  を含む。

(proof) Lemma 1 により  $\gamma$  の点はすべて type (2) としてよい。この時  $\gamma(S^2)$  上に innermost な 2-disk  $D$  が存在する。この  $D \cap S^2 = \partial D$ 。この時次のことが起こる。

- (1)  $\gamma(\partial D) = \partial D$
- (2)  $\gamma(\partial D) \cap \partial D = \emptyset$

Case (1)  $\exists$  a map  $f: D \times I (= [0,1]) \rightarrow M$  が



存在し

(a)  $f(D \times 0) = D$

(b)  $f(\partial D \times I) = f(D \times I) \cap S^2$

(c)  $f(D \times 1) \cap g(D) = \emptyset$

$f(D \times I)$  を満たす。  $\exists$  a map  $S_1^2 = D \cup g(D)$

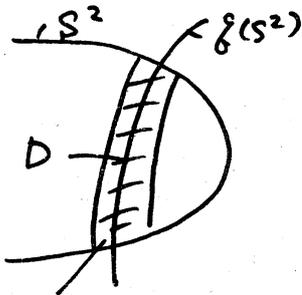
$S_2^2 = \{ S^2 - (g(D) \cup f(\partial D \times [0,1])) \} \cup f(D \times 1)$  とおく。

$\exists$  a  $S_1^2, S_2^2$  は Lemma の条件 (ii) を満たすことは明らか。又

$g(S_1^2) = S_1^2$  より  $\alpha(S_1^2) = 0$ 。  $S_2^2 \cap g(S_2^2) \subset S^2 \cap g(S^2) - \partial D$

より  $\alpha(S_2^2) < \alpha(S^2)$ 。  $\therefore$  2 case (1) は o.k

Case (2)  $\exists$  a map  $f: D \times [-1,1] \rightarrow M$  が存在



し

(a)  $f(D \times 0) = D$

(b)  $f(D \times [-1,1]) \cap S^2 = f(\partial D \times [-1,1])$

(c)  $f(D \times [-1,1]) \cap g(S^2) = f(D \times 0)$

$f(D \times [-1,1])$  を満足する。

$S^2 - f(D \times (-1,1))$  は 2 つの component を持つ。それらを

$S_+, S_-$  とする。ただし  $S_+$  は  $f(\partial D \times 1)$  と交わる component

とする。  $\exists$  a map  $S_1^2 = S_+ \cup f(D \times 1)$ ,  $S_2^2 = S_- \cup f(D \times (-1))$

とおく。条件 (ii) は o.k

$S_1^2 \cap g(S_1^2) = \{ S_+ \cup f(D \times 1) \} \cap g \{ S_+ \cup f(D \times 1) \}$

$$\begin{aligned}
&= \{S_+ \cap g(S_+)\} \cup \{f(D^{n+1}) \cap g(S_+)\} \\
&\quad \cup g\{f(D^{n+1}) \cap g(S_+)\} \cup \{f(D^{n+1}) \cap g(D^{n+1})\} \\
&= S_+ \cap g(S_+) \subset S^2 \cap g(S^2) - \partial D
\end{aligned}$$

よって  $\alpha(S_1^2) < \alpha(S^2)$ 。同様に  $\alpha(S_2^2) < \alpha(S^2)$ 。□

さて、Proposition 1 を証明する。 sphere-theorem による  
 $M$  には  $n$  個の 2-sphere  $S_1^2, \dots, S_m^2$  が存在して  $[S_1^2], \dots, [S_m^2]$  は  $\pi_1(M)$ -module として  $\pi_2(M)$  を generate する。  
 $\alpha(S_i^2) \neq 0$  の時は Lemma 2 を使うことにより、 $m$  の数は有限  
 であるが  $\alpha(S_i^2) = 0$  と仮定できる。この時  $g(S_i^2) = S_i^2$  (type  
 (a)) 又は  $g(S_i^2) \cap S_i^2 = \emptyset$  (type (b)) となる。□

以下 § 1 では  $M, N$  は closed orientable 3-manifold と  
 $L, p: (M, \tilde{L}) \rightarrow (N, L)$  を  $N$  の  $L$  を branch する 2-fold  
 branched covering とする。  $g$  を  $p$  の non-trivial な covering  
 transformation とする。又  $B_0^3 = \{(re^{i\theta}, t) \in \mathbb{C} \times \mathbb{R} \mid r^2 + t^2 \leq 1\}$   
 を 3-ball とし、  $p_0: B_0^3 \rightarrow B_0^3$  を  $p_0(re^{i\theta}, t) = (re^{i2\theta}, t)$   
 とし、  $\tilde{L}_0 = L_0 = \{(0, t)\} \cap B_0^3$  とする。この時  
 $p_0(B_0^3, \tilde{L}_0) \rightarrow (B_0^3, L_0)$  を standard な branched covering  
 と呼ぶ。

Lemma 3

$M$  の中に 3-ball を bound しき 2-sphere  $S^2 \subset g(S^2) = S^2$  とするものが存在したとする。この時次の 3 つのうちの 1 つが成り立つ。

$$\textcircled{1} M = M_1 \# M_2 \quad (M_i \neq S^3) \quad , \quad N = N_1 \# N_2 \quad \text{で}$$

$p_i: (M_i, \tilde{L}_i) \rightarrow (N_i, L_i) : N_i \alpha L_i \pm 2$  branch する 2-fold branched covering が存在する ( $i=1,2$ )。

$$\textcircled{2} M \cong S^2 \times S^1$$

$$\textcircled{3} M = M_1 \# (S^2 \times S^1) \quad , \quad N = N_1 \# P^3 \quad \text{で}$$

$p_1: (M_1, \tilde{L}_1) \rightarrow (N_1, L_1) : N_1 \alpha L_1 \pm 2$  branch する 2-fold branched covering が存在する。

(proof)  $S^2 \times [-1,1]$  を  $S^2$  の small invariant neighborhood とする ( $S^2 \times \{0\} = S^2$ )。この時

(1)  $S^2$  が  $M$  を separate する

(2)  $S^2$  が  $M$  を separate しき

の 2 つの場合がある。

Case (1)  $M = S^2 \times (-1,1) = V_1 \cup V_2$  とおく。この時原に

2 つの場合 (1-i)  $S^2 \cap \tilde{L} = \emptyset$  (1-ii)  $S^2 \cap \tilde{L} \neq \emptyset$  とに

わけられる。

⊙ (1-i):  $p(S^2 \times [-1,1])$  は projective plane  $\pm$  a twisted  $I$  (interval) - bundle とする。よって  $N = p(S^2 \times (-1,1))$  は

connected  $\tau''$ ,  $g(V_1) = V_2$  となる。  $\tau = 3$  が  $\tilde{\Sigma} = \tilde{\Sigma} \cap M = (\tilde{\Sigma} \cap V_1 \cap V_2) \cup (\tilde{\Sigma} \cap S^2 \times [-1, 1]) = \emptyset$  となり矛盾。

⊙ (1-ii) : この時  $g(V_i) = V_i$  ( $i=1, 2$ )。 この時各  $i$  ( $i=1, 2$ ) に対し次の同相写像  $f_i: \partial B_0^3 \rightarrow \partial V_i$ ,  $g_i: \partial B_0^3 \rightarrow p(\partial V_i)$  が存在して、下の diagram を可換にする。

$$\begin{array}{ccc} \partial V_i & \xleftarrow{f_i} & \partial B_0^3 \\ \downarrow p & & \downarrow p_0 \\ p(\partial V_i) & \xleftarrow{g_i} & \partial B_0^3 \end{array}$$

この時  $M_i = V_i \cup_{f_i} B_0^3$ ,  $N_i = p(V_i) \cup_{g_i} B_0^3$  とし、

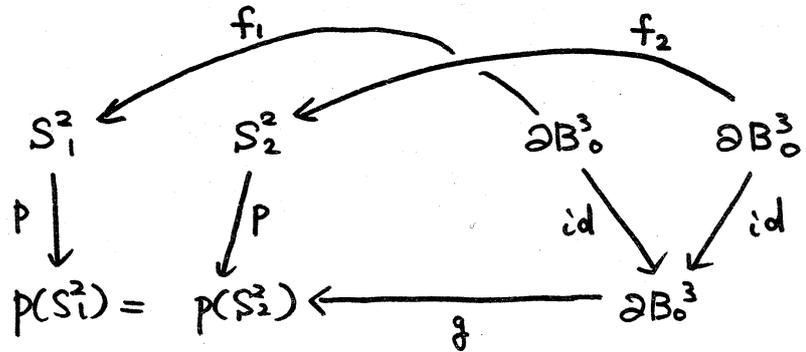
$$p_i(x) = \begin{cases} p(x) & x \in V_i \\ p_0(x) & x \in B_0^3 \end{cases} \quad \text{と置く。}$$

この時  $p_i$  は 2-fold branched covering となり、 $M = M_1 \# M_2$ ,  $N = N_1 \# N_2$  となる。又  $S^2$  が 3-ball を bound しないことにより  $M_1, M_2$  も 3-sphere にはならない。よって  $\tau \textcircled{1}$  が起こる。

Case (2)  $V = M - S^2 \times (-1, 1)$ ,  $W = N - p(S^2 \times (-1, 1))$  と置く。更に2つの場合に分ける。(2-i)  $S^2 \cap \tilde{\Sigma} = \emptyset$ , (2-ii)  $S^2 \cap \tilde{\Sigma} \neq \emptyset$ 。

⊙ (2-i) :  $p(S^2 \times [-1, 1])$  は projective plane 上の twisted I-bundle。  $\partial V = S^2_1 \cup S^2_2$  と置く。

この時次の diagram を可換にする同相写像  $f_1, f_2, g$  が存在する。

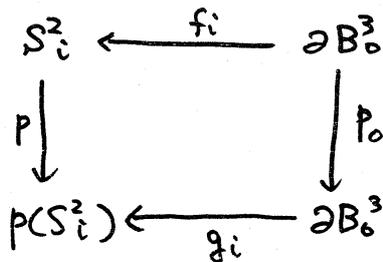


この時  $M_1 = V \cup_{f_1} B_0^3 \cup_{f_2} B_0^3$ ,  $N = W \cup_g B_0^3$

$$P_i(x) = \begin{cases} P(x) & x \in V \\ x & x \in B_0^3 \end{cases} \quad \text{とおく。}$$

$M = M_1 \# (S^2 \times S^1)$ ,  $N = N_1 \# P^3$  とある。(⇒③)

⓪(2-ii) :  $\partial V = S^2_1 \cup S^2_2$  とおく。各  $i$  ( $i=1,2$ ) に対し同相写像  $f_i, g_i$  が存在し、下の diagram を可換にする。



$M_1 = V \cup_{f_1} B_0^3 \cup_{f_2} B_0^3$ ,  $N_1 = W \cup_{g_1} B_0^3 \cup_{g_2} B_0^3$

$$P_i(x) = \begin{cases} P(x) & x \in V \\ P_0(x) & x \in B_0^3 \end{cases} \quad \text{とおく。}$$

$p_1$  は 2-fold branched covering で  $M = M_1 \# (S^2 \times S^1)$ ,  $N = N_1 \# (S^2 \times S^1)$ 。  
 $M_1$  が 3-sphere でない時は  $M_2 = S^2 \times S^1$ ,  $N_2 = S^2 \times S^1$  とおくと  $M_2$   
 から  $N_2$  への branched covering が存在する。よって ①。  $M_1$  が  
 3-sphere の時は ②。

#### Lemma 4

$\pi: (S^2 \times I, L') \rightarrow (B, L)$  2-fold branched covering  
 とすると次の二つが成り立つか？

(1)  $B$  は 3-ball で  $L$  は trivial knot

(2)  $B = S^2 \times I$  で任意の  $t \in I$  に対し  $S^2 \times \{t\} \cap L$  は 2-points。

(証明は略)

#### Lemma 5

$S^2$  を  $M$  内の 2-sphere で  $S^2 \neq \emptyset$  かつ  $S^2 \cap g(S^2) = \emptyset$   
 とすると、次の3つのいずれかが起こる。

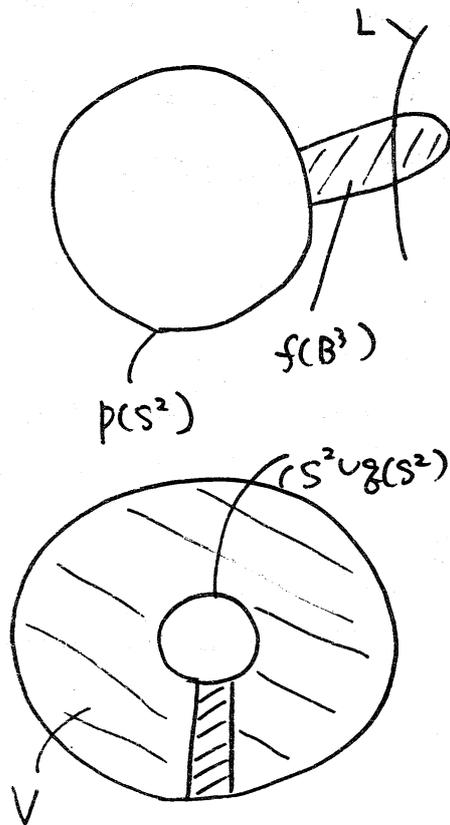
①  $g(S^1) = S^1$  で 3-ball を bound しない 2-sphere  $S^2$   
 が  $M$  内に存在する。

②  $L$  は trivial knot つまり  $M = N \# N$

③  $M = M' \# (S^2 \times S^1)$  で

$p': (M', L') \rightarrow (N, L')$  とする 2-fold branched  
 covering が存在する。

(証明)  $f: B^3 \rightarrow M$  で次の条件を満たす同相写像が存  
 在する。



(1)  $(f(B^3), f(B^3) \cap L)$  は trivial ball pair

(2)  $\partial B^3$  上 a 2-disk  $D$  が存在

$$L \cap f(B^3) \cap p(S^2) = f(D)$$

この時  $S = (p(S^2) - f(D)) \cup f(\partial B^3 - \partial D)$

$S' = p^{-1}(S)$  とある。  $S'$  が

3-ball を bound しなけりば ①。

よって  $S'$  は 3-ball  $V$  を bound する と仮定する。

$V \cap p^{-1}(f(\partial B^3))$

は 2 個の 2-disk または  $S^1 \times I$ 。

2 個の 2-disk の時は  $V - \text{Int}(p^{-1}(f(B^3)))$

は 2 個の 3-ball となり  $S^2 \neq \emptyset$  に矛盾。

よって  $V \cap p^{-1}(f(\partial B^3))$  は  $S^1 \times I$ 、故に  $V \cup p^{-1}(f(B^3)) = S^2 \times [0, 1]$

としよう。ここで  $S^2 \times \{0\} = S^2$ ,  $S^2 \times \{1\} = g(S^2)$  としよう。

としよう。

$p|_{S^2 \times I} : S^2 \times I \rightarrow p(S^2 \times I)$  は 2-fold branched covering。

Lemma 4 より  $p(S^2 \times I)$  は 3-ball で  $p(S^2 \times I) \cap L$  は trivial knot。

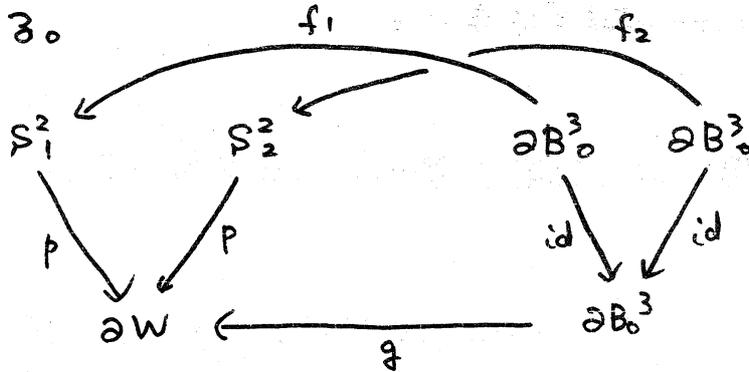
$W = N - p(S^2 \times (0, 1))$  とおくと、(a)  $p^{-1}(W)$  は 2-component

(b)  $p^{-1}(W)$  は connected の 2 つの場合に分かれる。(a) の

時は  $L \cap W = \emptyset$  なるので  $L = L \cap p(S^2 \times I)$ 、よって  $L$  は trivial

( $\Rightarrow$  ②) (b) の時は  $W' = p^{-1}(W)$ ,  $\partial W' = S^2_1 \cup S^2_2$  と

おく。この時同相写像  $f_1, f_2, g$  が存在して下 a diagram を可換にする。



$$M' = W' \cup_{f_1} B_0^3 \cup_{f_2} B_0^3, \quad N' = W \cup_g B_0^3$$

$$P'(x) = \begin{cases} p(x) & x \in W' \\ x & x \in B_0^3 \end{cases}$$

とあくと

$M = M' \# (S^2 \times S^1)$   $N = N'$  とあくと  $P'$  は 2-fold branched covering とあくと  $(\Rightarrow \textcircled{3})$ 。 □

Lemma 6

$M = M_1 \# M_2$  の時

$M: (CC, P)$ -manifold  $\iff M_1 \cup M_2$  は  $(CC, P)$ -manifold

(well-known)

この以降我々は Thurston などによって示されたこととする  
次の定理を仮定する

Theorem (homotopy Smith Conjecture)

$K$  を homotopy 3-sphere  $\Sigma$  の内 a non-trivial knot とする。

$K$  を branch する  $\Sigma$  の  $p$ -fold cyclic branched covering space は simply connected ではない。

さて証明にはいる前に次のことを定義する。

### 定義

closed orientable 3-manifold  $M$  は prime な manifold の connected sum に一意的に分解される。i.e.  $M = M_1 \# \dots \# M_m$ 。この時の個数  $m$  を  $PD(M)$  と書く。

最初に特別な場合を示す。

### Proposition 2

$\pi_2(M) = 0$  の時  $N$  が (C.P)-manifold なら  $M$  は (C.P)-manifold。

(証明の outline)  $M$  内に homotopy 3-ball  $B$  をとり、それが 3-ball であることを示す。  $d(\partial B)$  に関する induction で Lemma 2 を示した方向で行なう。 Lemma 2 との違いは、今度は 2-sphere を  $H$  とおく。その  $H$  の bound となる homotopy 3-ball が必要という点。そのために  $\pi_2(M) = 0$  が必要。

§2.

(Proof of theorem 1)

$PD(M)$  について  $\alpha$  induction で示す。  $PD(M) = 1$  の時。  $M$  は prime なので  $M \cong S^2 \times S^1$  又は irreducible。  $M \cong S^2 \times S^1$  なら (C.P) は明らか。 irreducible の時は  $\pi_1(M) = 1$  の時は  $\pi_1(N) = 1$  と存るので  $N \cong S^3$ 。 かつ Theorem (HSC) より  $M \cong S^3$ 。  $\pi_1(M) \neq 1$  の時は irreducible から (C.P) がしただろう。  $n = PD(M)$  未満の manifold については定理は正しいと仮定する。  $\pi_2(M) \neq 0$  の時は Proposition 2 を示して  $\pi_2(M) \neq 0$  とする。 この時 Proposition 1 より  $[S^2] \neq 0 \in \pi_2(M)$  と存る  $S^2$  が存在して  $g(S^2) = S^2$  又は  $g(S^2) \cap S^2 = \emptyset$  と存る。  $g(S^2) = S^2$  の時 Lemma 3 が適用できる。 ① の時 Lemma 6 より  $N_1, N_2$  は (C.P)。

$p_i: (M_i, \widehat{L}_i) \longrightarrow (N_i, L_i) \quad (i=1,2)$  は  $PD(M_i) < PD(M)$

存るので Theorem が保えて  $M_1, M_2$  は (C.P), かつ  $M \notin (C.P)$ 。

② の時は明らか。 ③ の時も  $PD(M_i) = PD(M) - 1$  存るので ① の時と同様にできる。  $g(S^2) \cap S^2 = \emptyset$  の時は Lemma 5 を適用すれば同様に見える。  $\square$

Lemma 7

$p: \tilde{M} \longrightarrow M$  2-fold unbranched covering

$M: (C, P)$ -manifold  $\implies \tilde{M} \in (C, P)$ -manifold

(proof) Hempel [H] a Lemma 10.4 (p 96) と同様に示すことができる。

Theorem 2

$p: (M, \tilde{L}) \longrightarrow (S^3, L)$  2-fold branched covering

(i)  $\pi_1(M) \cong \mathbb{Z} \implies M \cong S^2 \times S^1$

(ii)  $\pi_1(M) \cong \mathbb{Z}_2 \implies M \cong \mathbb{P}^3$

(proof)

(i)  $\pi_1(M) \cong \mathbb{Z}$ ; [J] により  $M \cong S^2 \times S^1 \# \Sigma$  ( $\Sigma$  は "homotopy 3-sphere")。Theorem 1 により  $M$  は  $(C, P)$ 。よって Lemma 6 により  $\Sigma$  は  $(C, P)$ 、つまり  $\Sigma \cong S^3$ 。

(ii)  $\pi_1(M) \cong \mathbb{Z}_2$ ; Theorem 1 により  $M$  は  $(C, P)$ 。  $\tilde{M}$  を  $M$  の universal covering space とする。2-fold covering。よって Lemma 7 により  $\tilde{M}$  は  $(C, P)$  で  $\tilde{M} \cong S^3$ 。  $M$  は  $S^3$  を  $\mathbb{Z}_2$ -action で作ったものか、[L] により  $M \cong \mathbb{P}^3$ 。

## References.

- [H] J. Hempel, 3-manifolds, Ann. of Math. Studies #86, Princeton Univ. Press.
- [J] W. Jaco, Three manifolds with fundamental group a free product, Bull. Amer. Math. Soc. 75 (1969) 972-977
- [K] M. Kouno, The irreducibility of 2-fold branched covering spaces of 3-manifolds, preprint
- [L] G.R. Livesay, Fixed point free involutions on the 3-sphere, Ann. of Math. 72 (1960) 603-611